

中期経営計画2026-2028

人を育み、働く喜びと幸せを実現し、
共に成長し続ける経営をめざす



2026年 7月



大有建設株式会社

INDEX



1. 「中期経営計画2023-2025」の総括.....	3
2. 新たな中期経営計画の策定と実行のポイント.....	5
3. パーパス・ミッション・アクション	6
4. 中期経営計画2026-2028の基本方針と基本戦略	7
5. 主な活動と目標	8
6. 主な設備投資	10



1.『中期経営計画2023-2025』の総括

業 績

- 全体の売上高は250億円前後、経常利益率は概ね6%以上を得られた。
- ▼一部の工事部門と製品販売で採算が悪化した。

社会状況と建設を取り巻く環境

- ▼ロシアのウクライナへの軍事侵攻、更には米国・イスラエルのイランへの攻撃によってホルムズ海峡が閉鎖状態になり、物資、特に石油類の高騰に見舞われ、製品販売(As合材)の利益が圧迫されている。
- 建設関連の重点分野は変わっていないが、インフラの更新の中でも特に下水道管の更新は重点事項になった。
- ベトナムのプロジェクトはしばらく遅延していたが、2025年からようやく排水性舗装用添加剤の販売が上向いてきた。

経営計画と年度計画との適合性

- 経営計画に沿った年度行動計画を立案し、個別ミーティングによる計画とその実行の確認が定着している。
- 毎年度の収益に効果がある戦略～行動計画については、各部門で現業内の活動として実行して成果も上がっている。
- 収益以外の働き方や企業イメージ向上などの計画は、未達になるものがあり、推進する人員の確保や計画の選択、参加する社員の理解と実行が必要。

戦略・戦術の実績と課題 【建設】

- 官庁工事・舗装工事は好調で、多くの発注者から表彰や優秀企業認定も受け、ICT施工や管更生なども増えてきた。
- 汚泥処理浚渫などの環境事業メニューが増え、お客様が増えている。
- 舗装以外の工事の強化を計画したが、管更生と電線共同溝以外の土木工事の強化は進められなかった。
- ▼ガス関連工事の施工単価が改善せず、既存強化の成果が得られない状況が続いている。



1.『中期経営計画2023-2025』の総括

戦略・戦術の実績と課題 【製品販売】

- お客様アンケートによる満足度の向上は、お客様の確保と合材出荷量を確保するのに有効と思われる。
- カーボンニュートラルに向けたエネルギー削減は進んでいないが、中温化合材の試験施工などは進み始めた。
- ▼As再生骨材や再生路盤材の出荷が減り、アスガラやコンクリートガラが溜まってしまう。
- ▼合材プラントのIoTやAIの技術導入は遅れており未達。カーボンニュートラルに向けたプラント設備投資や、デジタル技術の導入による生産性向上が望まれる。

戦略・戦術の実績と課題 【製品販売】

- TPS、剥離防止剤、TAF-Primer(床版接着剤)、STP-VN（半たわみ性舗装用添加剤）を主力商品として実績を積んでいる。
- ベトナムのプロジェクトはしばらく遅延していたが、2025年からようやく排水性舗装用添加剤の販売が上向いてきた。

戦略・戦術の実績と課題 【技術開発】

- オールシーズン型R 環境舗装(ACE-Pave)、高耐久アスコン(LExアスコン)、低炭素合材など試験施工やPR施工を進めている。
- 植物由来材料や植物性再生As混合物の実験は進み、業界へのアピールを行ったが、材料の入手や製造設備の追加など課題が多い。

戦略・戦術の実績と課題 【その他】

- 健康経営推進計画やDX推進計画など重要な経営課題の実行計画も策定したが、これらの実行していく体制と意識を高める取り組みが必要である。
- 新入社員から5等級までのキャリアプランを充実させたが、経営職を含めた人材育成カリキュラム等の充実が必要。
- 社外HPのサステナブル経営の追加やX・YouTubeを発信しているが、更に当社のイメージ向上に繋がる取り組みが望まれる。



2. 新たな中期経営計画の策定と実行のポイント

経営計画策定の方針

- 10年後の大有建設(全体)が目指す姿(ビジョン)は、ミッションの実現とする
 - ・法令を遵守し、世の中から信頼され、誰もが憧れる会社になる
 - ・持続的な成長を目指し、知恵と工夫とチャレンジをもって未来を創造する会社になる
 - ・世の中の人々を幸せにするために、多様性を尊重し、和をもって風通しの良い活力ある会社になる
- ミッションを実現するための3年間に必要な戦略・戦術を立てる
【課題例】
 - ・事業基盤の強化
 - ・新規事業を含めた事業領域の拡大
 - ・SDGsやカーボンニュートラル、情報セキュリティを含めたリスクマネジメント・コンプライアンスへの取り組み
 - ・「人材育成・エンゲージメント・健康経営」、「生産性向上・DX」、「ブランディング・広報強化」は必須課題

経営計画の 策定のポイント

- 実行していく経営計画を策定する
 - ・目指す姿(ミッションの実現)を具現化する活動(戦略・戦術)・目標(可能な限り数値)を立案する
 - ・計画の実行と達成も考え、戦略・戦術は選択して立案していく
 - ・可能な限り具体的な方向と目標を示し、担当部署・担当者が何をするのか分かるようにする
 - ・活動ができる組織・しくみ・人員を確保していく
 - ・経営計画の活動を確保した売上利益計画とする



3. パーパス・ミッション・アクション

パーパス	信用と知恵と和をもって、安心・快適な生活環境づくりに貢献する
ミッション	● 法令を遵守し、世の中から信頼され、誰もが憧れる会社になる ● 持続的な成長を目指し、知恵と工夫とチャレンジをもって未来を創造する会社になる ● 世の中の人々を幸せにするために、多様性を尊重し、和をもって風通しの良い活力ある会社になる
アクション	【考動】 世の中の変化に機敏に考動し、イノベーションで未来をつくろう 【誠実】 法令遵守を徹底し、社会規範や社内ルールに沿って誠実に行動しよう 【継承】 培った知識と技術を若い世代へ継承し、持続的な成長に繋げよう 【協同】 すべての人との意思疎通を図り、助け合い、一体となって最善を尽くそう



4. 中期経営計画2026-2028の基本方針と基本戦略

【基本方針】

**人を育み、働く喜びと幸せを実現し、
共に成長し続ける経営をめざす**

【基本戦略】

1. 事業基盤強化_戦略



- 1.1 道路・土木・建築・環境分野での事業 基盤の強化
- 1.2 安定した生産体制・工場運営
- 1.3 プラントミックス改質剤を軸としたベトナムでの販売実績の向上
- 1.4 道路分野での技術的優位性の確立

2. 新規・事業領域拡大_戦略



- 2.1 事業領域の拡大 (M&A, 業務提携も含む)
- 2.2 新規事業創出 (PFI事業等への参画など)
- 2.3 研究開発の強化 (産官学共同研究)
- 2.4 DXの推進による新たな会社の仕組み・組織の構築

3. サステナビリティ・リスクマネジメント_戦略



- 3.1 カーボンニュートラル・SDGsの推進
- 3.2 環境配慮型施工・製品の拡充
- 3.3 法令遵守・情報セキュリティなどを含むBCP・リスク対応体制の強化
- 3.4 働き方・健康・エンゲージメントの向上

4. 人材_戦略



- 4.1 技術と知識の継承と若手・中堅層・経営職の育成
- 4.2 多様な人材の採用・活用
- 4.3 ブランディング・広報の強化



5. 主な活動と2028年度までの目標

基本戦略	戦略・具体的行動	目 標
 事業基盤強化_戦略	自社保有技術(材料・工法・施工機械)を活かせる工事の受注・施工	10件以上/年
	土木・インフラ工事の施工体制の強化による受注増	23件以上/年
	ガス工事_監理士・工事士の増強	+6名/3年
	プラントや水・汚泥処理関連設備の提案による受注増	10件以上/年
	製品販売の原価率の低減	過去3ヶ年平均の3%低減
	As改質添加剤の大型PJ受注	250ton以上/年
 新規・事業領域拡大_戦略	DX活用による業務効率化・生産性の向上	導入件数や労働時間の短縮
	AI・ITを活用した業務支援システムの開発・実用化	2システムの試行/26年度中
	施工支援ロボットの開発	現場での活用/26年度中
	電共や公園・道路管理のPFI事業への参入	1件以上の応募/3年間
	産官学による共同研究への参加	1件/3年間
	全社的な管理業務の整理	新業務機構の提言



5. 主な活動と2028年度までの目標

基本戦略	戦略・具体的行動	目 標
 サステナビリティ・ リスクマネジメント_戦略	低炭素(中温化)合材の出荷	10,000ton以上/年
	植物由来材料などの舗装材への利用	品質・供用性確認
	CO ₂ 排出量低減策の推進	CN推進計画による
	法令やリスク管理に対応する諸規定等の策定	新規作成・更新100%
	情報セキュリティ対策(リスクアセスメントの実施など)	1回/年など
	労働災害・公衆災害・交通災害の減少対策の実施	度数率1.0以下など
	多様な働き方(時差・時間有休・育児休暇etc)の推進	各種制度の積極的活用
	健康経営推進計画による健康施策の実行	全部署・全社員参加
 人材_戦略	国家資格等の取得支援	合格率 50%以上
	タレントマネジメントシステムの活用	活用の定着
	中堅・経営職の育成プログラムの確立と実行	育成プログラムの実行
	IT・AI人材の育成	全社レベルとリーダーレベルの育成
	企業価値向上への取り組み	ブランディング向上策の策定と実行

6. 主な設備投資



設備名	導入時期
新本社の完成	2026年度
営業所の建替え（営業所2ヶ所）	2026年度
事務所太陽光発電設置（1ヶ所）	2027年度
Asフィニッシャー（1台）	2026年度
ローラーなどの建設機械（2台）	2027年度、2028年度
切削機ICTマシーン（1式）	2027年度
現場管理用タブレット買替・追加（約30台）	2026年度、2027年度、2028年度
As工場ストックヤード改修（1ヶ所）	2027年度
研究用試験機の新規・更新	2026年度、2027年度、2028年度
タレントマネジメントシステムの導入	2026年度